

糸田町議会だより **第4号**



撮影者：我毛正時氏

おもな内容

- 先進地視察研修…………… P2
- 一般質問(町政を問う)…………… P4 ~ P7
- 委員会報告…………… P8 ~ P9
- 25年度予算はどのように使われたのか… P10
- まちのようす…………… P11

出産育児一時金のこと
がのってるよ。
よく見てネ!! P8



ギカイくん



たよりちゃん

平成26年第4回糸田町議会定例会 (12月8日から12月12日)

議案結果		
議案番号	件名	結果
議案第30号	平成25年度糸田町一般会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第31号	平成25年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第32号	平成25年度糸田町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第33号	平成25年度糸田町学校給食センター事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第34号	平成25年度糸田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第35号	平成25年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第36号	平成25年度糸田町上水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第43号	専決処分について (平成26年度糸田町一般会計補正予算)	承認
議案第44号	糸田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	可決
議案第45号	糸田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決
議案第46号	糸田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決
議案第47号	糸田町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
議案第48号	平成26年度糸田町一般会計補正予算	可決
議案第49号	平成26年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	可決
議案第50号	平成26年度糸田町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算	可決
議案第51号	平成26年度糸田町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決
議案第52号	平成26年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計補正予算	可決
議案第53号	平成26年度糸田町上水道事業特別会計補正予算	可決
議案第54号	糸田町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意

議会行政用語

議会行政用語辞典

監査制度

主として監察的見地から事務もしくは業務の執行又は財産の状況を検査し、その成否を調べることをいい、地方自治体においては、監査委員による内部的、自主的な一般監査が主体となっている。

地方自治法における監査制度の趣旨は、原則として単なる非違又は不正の摘発ではなく、公正かつ効率的な財務会計事務の処理を指導することによって、地方行政の適法性及び妥当性を保障することにあるといわれている。

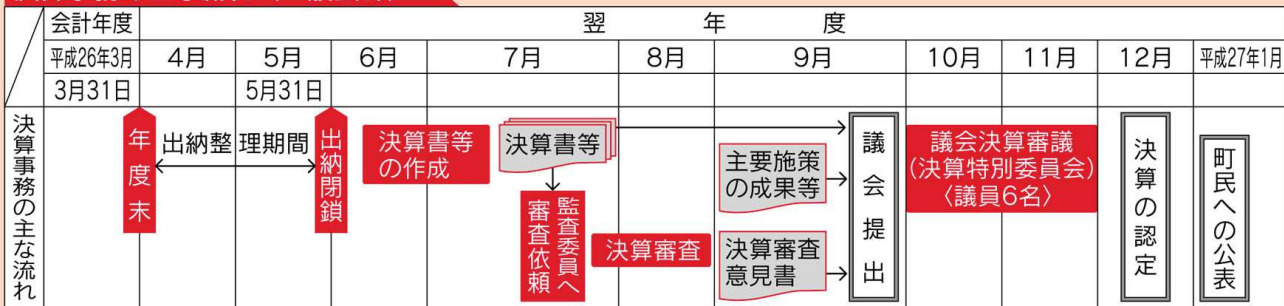
※監査委員は、町村では2人とし、うち1人は識見を有する者、もう1人は議員から選任される。(地方自治法)

決算

予算が、1年間の行政活動の予定を計数的に見積もったものであるとすれば、決算は、その予算の使われ方を計数的に明らかにするものです。

したがって、決算の内容をみれば町がおこなった行政活動の結果や財政状況が全てわかります。

決算事務の主な流れ (一般会計)



議員団先進地視察研修 - 10月22日・23日 -

1日目



- 場所：鹿島市役所 (佐賀県)
- 内容：「自主防災組織の育成について」「地域公共交通について」

◆ 校区・集落・自治会への調査・ヒアリングで防災組織を育成。

- ・「自助 (自分(家族)の命は自分で守る)」
- ・災害に対する準備をしておく。家庭で考えてもらう。

◆ 山間地と市街地を結ぶ交通整備

- ・ニーズに合わせた運行ダイヤ
- ・高齢者に配慮した車両整備
- ・市内循環バスとのりあいタクシーで市民の足を充実。


2日目

- 場所：鳥栖・三養基西部環境施設組合
- 内容：「溶融資源化センター」「リサイクルプラザ」

◆ 風と木の公園として住民に親しまれている環境施設

- ・リサイクル活動
- ・菊づくり教室
- ・エコライフ講座
- ・子どもたちが環境について学習できる宿泊施設を完備

◆ ハイブリッド照明灯

街路灯は、風力と太陽光の組合せによって発電します






田川郡町村議会議長会研修会 11月7日

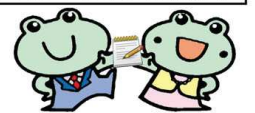
- 場所：源じいの森 (赤村)
- 講師：泉 宏氏 (政治ジャーナリスト)
- 主催：田川郡町村議会議長会

町村議会広報研修会 11月20日

- 場所：福岡県自治会館 (福岡市)
- 講師：芳野政明氏 (広報コンサルタント)
- 主催：福岡県町村議会議長会

議会活動

10月	11月	12月
日にち(曜日)	日にち(曜日)	日にち(曜日)
3日(金)	1日(土)	議長団
6日(月)	4日(火)	産業建設厚生常任委員会協議会
7日(火)	7日(金)	議会運営委員会
12日(日)	8日(土)	議会広報常任委員会
14日(火)	10日(月)	平成26年第4回定例会(初日)
22日(水)	12日(水)	糸田町開発促進及び防災対策特別委員会
23日(木)	13日(木)	決算特別委員会
24日(金)	14日(金)	産業建設厚生常任委員会
26日(日)	16日(日)	総務文教常任委員会・協議会
27日(月)	17日(月)	議会広報常任委員会
28日(火)	20日(木)	平成26年第4回定例会(最終日)
30日(木)	28日(金)	
31日(金)		



一般質問とは
議員が町の仕事全般について、現状やこれからの考えについて質問したり、政策提言をおこなうことで、定例会のみでおこなわれます。糸田町議会では通常一人50分以内でおこない、議会日よりには、要約したものを掲載しています。

5番 小嶋 康子 議員



Q 町内に光通信網の敷設を民間業者に要請されてはどうか。

A 採算性を民間企業が重視しているので受けられないが、要望を継続。

質問 町民の方から「糸田町だけでなくしてできないのか」といった声がある。光通信はさまざまな仕事などに役に立つ可能性がたくさんあると思う。2年前も質問したが採算性を理由に応じてもらえなかったということだが、再度要請されてはどうか。

Q 地域包括支援センターの取り組みについて。

A センターのPR、広報紙再度掲載。ステッカーなどを作成する。

質問 センターは、ケアマネージャーがこれまでばらばらだった医療と介護のコーディネート役を担い24時間対応の定期巡回、随時対応型訪問介護・看護サービスなどが期待される。見守りや生活支援、認知症の人に対する財産管理など権利の擁護についてもニーズが高いと思うが現状と課題はどのように把握しているか。

答弁(課長) センターは、高齢者が住みながら地域で安心して生活できるように、社会福祉士、主任ケアマネージャー、プランナー合計6名のスタッフが介護予防の推進、ケアプランの作成、高齢者の権利擁護、総合相談支援などを行っている。糸田町地域ケア会議や個別ケース会議を福祉事務所、保健所・各医療機関、各福祉及び障害者施設関係と連携をとりながら実施している。センターのPRは電話の側に張っていつでも確認できるステッカーなど作成及び広報紙に再度掲載する。



Q 認知症の人を地域でどう支えるのか。

A 幅広い年齢層を対象に認知症サポーター養成講座を開催。

答弁(町長) 認知症の問題は、行政がどう早くサービスをしてあげるかが大事である。福岡県の防災メールまもる君に私も登録している。行方

不明者のメールが入ってきて、大体1日ぐらいで見つかったという情報が入る。そういう意味では防災メール等をお願いして、広い範囲に情報提供をしていくことが大事である。

Q 小・中学校で、ガン、認知症教育を取り入れたらどうか。

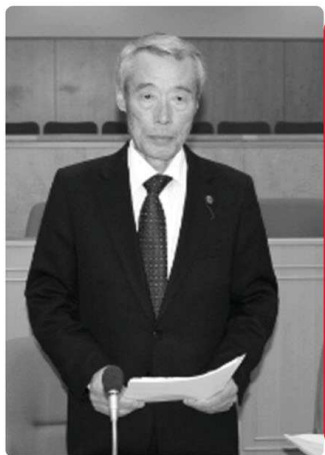
A 国がガン教育の検討会を設置。認知症教育も前向きに取り組みたい。

質問 小中学校でガンについて正しい知識の習得、がん患者に対する正しい認識、命の大切さを学ぶ教育と認知症を絵本などで学んでいるところもある。

答弁(課長) 認知症学習の先進事例は大牟田市。ガン教育は26年度から文部科学省がガン教育支援事業により検討会を設置。



3番 松瀬 征行 議員



Q 組合立中学校設立について経過と事前議会説明を。

A 10月24日「組合立中学校設立準備会」を解散した。

質問 新たな学校設立は、生徒の将来を左右する大事な教育問題ですので3回目の一般質問をする。行政としての正確な経過説明を求め。

答弁(町長) 10月24日各町村から「組合立中学校の設立だけでは、中等教育の充実とならず」という意見により、組合立中学校の設立準備会を解散し、その場で中、高一貫校設立に向けた「検討準備委員会」の提案があったが諸々の事情で延期となった。

質問 事前の議会説明を含めた基本的な対応は。

答弁(町長) 12月19日が設立に向けた討議予定日となっている。私は、組合立中高一貫教育だけでなく他のものも含めて検討する組織にすべきではないかと思う。



Q 介護保険制度変更について、町長の基本的な対応方針を問う。

A 田川郡市と桂川が足並みをそろえたサービスにしていきたい。

質問 27年度から「介護保険制度」が国の見直しで、高齢者にとって厳しい内容となっている。変更になった「介護保険制度」の概要を問う。

答弁(課長) 今回の制度改正の主な内容は、特別養護老人ホームの新規利用対象者は原則要介護3以上の限定、低所得者の保険料軽減の拡充、一定以上所得者自己負担を1割から2割

に引き上げ、「要支援」の予防給付(訪問介護、通所介護)は、全国一律サービスから市町村事業に移管することです。

質問 町の要支援移管について現時点の取組状況と計画を問う。

答弁(課長) 本町は、福岡県介護保険広域連合に加入し、田川・桂川支部所属で意見交換会を実施している。平成27年より経過期間の3年間で支部内のサービス移行の協議をしている。

質問 財政状況が悪い市町村は、サービスの低下、地域格差、利用者の負担増等心配される。本町の「要支援移行事業」の基本的対応方針は。

答弁(町長) 職員の資質と努力で予防活動に力を注ぐべきだ。次の世代は、病気の予防、介護の予防が重点になるべきだ。

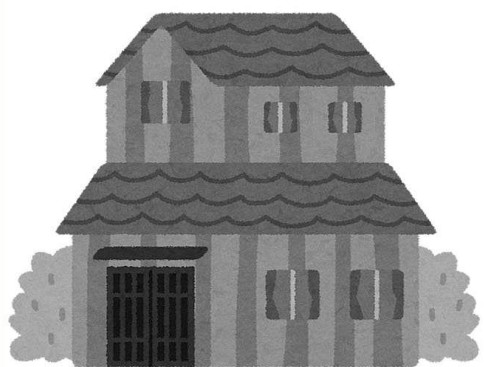


Q 「空き家対策条例」づくりについて。国の「対策法」成立に基づく町の対応は。

A 条例を作った方がインパクトがあれば、来年度つくる形になる。

質問 私は、「空き家対策」2回目の質問で前回「国の制定」にそって強制力のある「対策条例」づくりとの町長答弁であった。11月国は「空き家対策措置法」を成立させた。「空き家対策条例」の対応は。

答弁(町長) 現実に稼働するのは、27年6月頃。「立入調査」等、国の「措置法」に従って具体的に実施し、様子を見ながらインパクトがあれば、「町条例」を検討する。





糸田駅1号横断歩道橋

A 結論がでたわけではないが、補助金がついたら、平成筑豊鉄道と協議にはいる。

A 交付金額が確定後、平成筑豊鉄道と協議を進めながら、工事をする。

Q 糸田駅の横断歩道橋の改修計画問題について問う。



11番 中原 詔蔵 議員



糸田駅2号横断歩道橋の補修が必要と思われる箇所



糸田駅2号横断歩道橋

答弁(課長) 計画の状況については、平成

質問 この問題については、平成25年12月定例会で質問をしたが、課長答弁は、確定事項ではないが、現状では2カ所とも補修が必要とされている。補助金が確定以後、早ければ平成26年度、遅くても平成27年度からの工事の予定であるとのことですが、この問題の進捗状況を問う。

質問 年末から年度末にかけて、県発注、また町発注の公共事業の増に伴い通学路の工事も増えてくると思う。教務課、学校等と協議をして、登下校時の児童、生徒の安全な通学路の確保の取り組みについて、具体的に伺いたい。現在、南糸田から木ノ実に向かって、歩道設置工事をしており、まだ完全にはつながっていないが、来年度明け早々に県が残りの歩道部分も作ると聞いている。町道に関しても、歩道が十分ではない所が多々見られる。今後、宮床地

A 課と十分協議をした上で、安全確保に努めてまいりたいと思う。

Q 通学路の安全確保について。



6番 山田 陽一 議員

区では町営団地の建て替え等が計画されている。工事に関係する道路が通学路になっている。一旦始まれば長期8年間の工事となる。この間の安全確保をどのように考えているか、また、対策を伺いたい。また、旧役場通りの安全対策に当たって、ゾーン30は有効的な対策ではないかと思うが、検討はされたのか。

答弁(課長) 通学路の道路工事区間における登下校時の安全確保は、工事着工前に、発注元より工事箇所、工事期間など図面を含めた情報を提供していただき、安全な迂回路を設定、選定した上で小・中学校を通じて児童、生徒並びに保護者に周知を図っている。歩道設置、宮床団地の工事に関係する安全確保については、今後、町の工事担当課と十分協議をした上で安全確保に努めていく。



区では町営団地の建て替え等が計画されている。工事に関係する道路が通学路になっている。一旦始まれば長期8年間の工事となる。この間の安全確保をどのように考えているか、また、旧役場通りの安全対策に当たって、ゾーン30は有効的な対策ではないかと思うが、検討はされたのか。



A 道路に着色するようなことがあれば田川署の交通安全課と相談する。

答弁(教育長) 旧役場通りについては、登下校時、子どもたちが一番集中するところであり、大変心配してい



る。今、緑色の歩道は途中までである。地元から「反対側にも色を塗った方がいいんじゃないか」という意見も届いている。反対側に色を塗ると、着色した部分は段差のある歩道と同じ法的な意味がある。車の通る幅員が狭くなって無理であるというような事もあり、近いうち、警察と一緒に現地を見て車の徐行、子どもたちの登下校の状況等の安全になるような標識、出来る事があればやっていくと今相談しているところである。

質問 宮床町営住宅の建設整備計画が進むようである。今日まで待ち望んだ問題であり、将来的に考えてみると、大きな活性化につながる

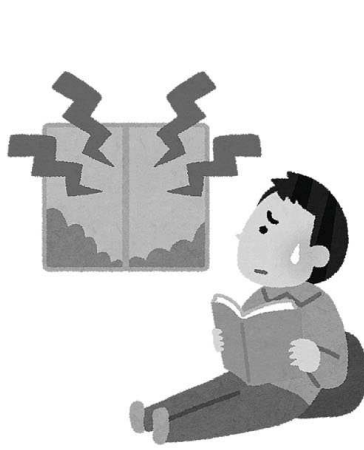
A 了解をいただいた。通学の安全については、警備員等をつけ、安全に配慮する。

A 協議をすすめてきた。騒音、振動、粉塵対策も説明し理解をいただいている。

Q 町営住宅建設実施時の関連対策問題について問う。

答弁(町長) まだ、正式には話し合いをしていないが、補助金がついたら、平成筑豊のほうに委託契約をして、平成筑豊鉄道が指定の業者で工事をするという段取りになると思う。ただ今のところ結論が出たわけではないが、そのようになると思う。

答弁(町長) 26年9月30日に調査補修設計業務を入札した。で、今年の10月のはじめに概算要求として、1号横断歩道橋について、県に要求しております。したがって、設計の金額が固まり次第、改めて交付申請を提出する。交付金額が確定後、平成筑豊鉄道と協議を進めながら、始めたいと思う。



答弁(町長) 周辺の皆様に大変御迷惑をかかけます。周辺の方々の説明であるが、10月23日と11月18日の2回説明会を行い了解をいただいた。子ども達の通学の安全ですが、警備員等をつけながら、安全に配慮していく。

答弁(課長) 新年度から1期工事の2棟分を建てるが、道路利用については、食彩館がある。県道香春糸田線は人と車の往来が頻繁なことから、使用しません。使用する場所は、主に町営住宅の周辺と県営住宅の周辺道路を利用し田川市や桃山線にでるといふ形で、住民の方々に、説明し御理解をいただいている。

ることと思う。この建設計画がはじまると、いろんな問題点が発生する。工事車両の通行路の問題や、通勤通学時の安全対策の問題、そして騒音問題等による地元対策の問題等々である。このことについて、担当課長と町長に問う。

平成26年度一般会計

補正予算（専決含む）
3,228万円を増額
総額45億6,081万円



今回の補正予算（専決含む）
3,228万円
(既決予算比 0.71%)

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会とは…

主に、総務課・税務課・教務課に関する事項を審議調査します。

職員給与改定

人事院勧告：国家公務員給与と民間給与との較差を埋めるための勧告。平成26年の較差は、0.27%。
糸田町も国に準じて改定。過去7年間はプラス改定なし。
重点的に若年者の給与改定。

税番号制度関連事業費

- 業務委託料 約54万円
- 情報漏えいに関する経費 約40万円
- 中間サーバー負担金 約66万円

繰越明許(宮床団地)

平成26年度内に支出が終わらない予定の宮床団地建替事業費を、翌年度に繰り越して使用するため繰越明許費として予算計上。
金額5,500万円



人づくり基金補助金

Q 補助の内容は？

A 和太鼓たぎり全国大会出場のため、子ども15名分の旅費の一部を補助する。



財源更正

小中学校学力補充教室等の経費の一部が県の補助対象に。

Q 効果は上がっているのか？

A 教室に参加している子どもたちの成績は向上。
小学校は学校独自の調査の結果10ポイント向上。
中学校は志望校に全員合格。

糸田町開発促進及び防災対策特別委員会

番号	案 件	状 況
1	南糸田カーブ改良工事	県に要望中
2	中学校から町民会館間の道路改良及び歩道設置工事	町に要望中
3	ゴミ焼却場、衛生関係の視察研修	視察完了
4	県道香春～糸田線改良工事（宮床・貴船～田川市）	県・田川市に要望中
5	水落の滝(ホタル育成・公園整備)	町に要望中
6	糸田城址公園・旧城小学校跡地整備	町に要望中
7	鼠ヶ池4号線の改良	町に要望中
8	生産者加工組合の設立	委員会にて検討中
9	町有地の活用（新烏尾・大熊団地等）	委員会にて検討中
10	道の駅活性化に向けて	委員会にて検討中
11	糸田中学校前の道路舗装	随時補修中

懸案事項一覧表

産業建設厚生常任委員会

産業建設厚生常任委員会とは…

主に、住民課・福祉課・水道課・建設住宅課・産業経済課・町立緑ヶ丘病院に関する事項を審議調査します。

子育て支援(保育事業の拡充)

(目的)

全ての子どもが健やかに成長するための環境整備。
待機児童解消の取り組みとして市町村が実施主体となる家庭的保育事業等の事業を条例化。



農家台帳システム改修費 約205万円

農地法の改正により農地台帳・地図の公表が義務づけられたため、システムを改修。
国からの補助金 174万円
町の負担 31万円

出産育児一時金(出産費)の額の改定

国民健康保険加入者は、出産育児一時金(出産費)の額が「39万円」から「40万4千円」に改定。
施行日は平成27年1月1日



生産調整推進対策費 70万円

減反(米生産量の抑制)政策による町から農家へ面積に応じた補助金。
対象総面積：425,823m²



財源更正432万円 CT購入一部費用

9月補正予算による町立病院CT撮影装置導入に補助金が付きました。
購入費約2,380万円のうち国からの補助金が432万円。



10月に自動車学校前の側道橋が完成

以前は鉄板を使用していたが劣化のため通行止めになっていた。完成により安全に通行できるようになった。

県営水落谷地区農業用ため池整備(県工事)

鼠ヶ池から木ノ実ため池へスムーズに水が流れるようになった。県への負担金の予算額は800万円



南糸田歩道完成(県工事)

特別委員会で県土事務所に再々陳情に行き、改善を要望。結果は、2期工事でも平成27年度着工予定。

工 事 名	予定額(円)	落札額(円)	落札率(%)	業 者 名
上糸田・鼠ヶ池線道路改良工事	15,950,000	13,558,000	85.00	(有)河端建設
糸田町社会福祉センター倉庫構築工事	7,110,000	6,939,000	97.59	(有)新日本建設
糸田町子育て支援室改修工事	5,708,000	5,593,000	97.99	(株)安方工務店
桃山地区配水管布設替工事	5,600,000	5,300,000	94.64	源輝水工
道の駅いとだ太陽光発電及び蓄電池設置工事	21,350,000	20,293,000	95.04	(株)きたせつ 筑豊本部
堀川地区集会所屋根等改修工事	3,170,000	3,140,000	99.05	泌泉建設
真岡生活館屋根等改修工事	2,610,000	2,600,000	99.62	有限会社 早麻組

平成25年度決算認定
決算特別委員会が
内容を検証



25年度の予算はどのように使われたのか

執行部の主な成果報告

平成25年度は国の経済対策関連の事業を中心に実施。普通建設事業費が対前年比308%増の4億4,391万8千円となった。社会資本整備交付金事業による自由ヶ丘・宮床・南糸田地区の道路整備・戸石団地の合併浄化槽設置及び住戸改善事業による生活環境の改善、学校施設環境改善交付金事業による糸田中学校の大規模改修、地域の元気臨時交付金を利用した宮床地区排水路整備、地区公民館補修、町立病院改修、また町立保育所や隣保館の改修により学習環境の改善や利用者の利便性の向上を図ることができた。ソフト面では、緊急雇用創出事業臨時特例基金事業による道の駅販売促進事業、ホームページ更新事

業、特産品開発、ご当地グルメ販売促進事業などにより雇用の創出に寄与できた。災害時避難拠点施設における太陽光発電設備導入可能性調査事業を行った。今後は調査結果に基づき太陽光発電設備の導入を推進していく。小中学校講師を独自に採用した30人学級による児童生徒の学力向上などの施策を継続して実施。昨年に続き後年度の財政需要に備えるため財政調整基金への積み立てを行った。収支状況は、一般会計の実質収支は4億4,333万8千円の黒字、25年度単年度収支も369万6千円の黒字を計上している。

委員の質疑

- Q、ホームページ拡充事業の交付金が付いたが次年度からの経費は？
A、原則職員で更新していく。
- Q、財産管理費の不用額が大きいのは？
A、大熊団地の販売促進費を計上したが販売できなかったため。
- Q、土地代が他の地域より高いからではないか？
A、大熊団地は、合併浄化槽を設置している所以他の土地を購入して合併浄化槽を設置する金額とあまり変わらない。周知の仕方を考える。
- Q、税等の回収率の改善は？
A、徴収に知恵を絞って回収努力をする。
- Q、町立病院のボイラー等の電化は考えていないか？
A、時機をみて検討していきたい。

- Q、妊婦健診の券を出産後の検診に充当できないか？
A、平成25年度から交付税措置となったが出産後に充当するには、新たに予算組みしなければならない。
- Q、保育士の賃金は、増えたのか？
A、平均月11,300円と通勤手当の支給分が増えた。
- Q、小中学校の単費による講師の採用は効果が出ているか？
A、小中学校とも効果は出ている。
要望 教育には、これからも予算をつけてもらいたい。
- Q、小中学校の図書購入費が少ないのでは？
A、平成26年度も、小中学校合わせて100万円予算計上している。

委員長報告からの抜粋

歳出における不用額を減少させるため、予算計上の段階での精査を十分に行うこと、予算執行に際しましては、最小限度の経費で最大限の成果をもたらすことを要望。

議案第30号から議案第36号まで7件について、質疑終了後採決した結果、全会一致で全議案とも認定することに決定。

がんばり屋さん

今回は
糸田町の
泌泉公園の
美化活動
を紹介します



高原さん

御手洗さん

糸田町の名所といえば泌泉公園。
田川市郡の観光案内冊子に掲載されている。

昔は、冷たくて飲むこともできた湧水。

ここを2年前から、高原逸郎さんがボランティアで、落書きで汚れたトイレなどをペンキで何回も重ね塗りをして、落書きをしても水やシンナーでふき取ればすぐに消すことができるようにした。

「地域の人たちから『きれいになったネ』『あなたがあしてくれただんでネ』と言われることもときれいにしよう」と生懸命美化に取り組んだ」と語られた。

イスも半年に1回ニスを塗り、メンテナンスをしている。

昨年からは、御手洗辰雄さんが草刈りに参加して、現在2人で週1回のペースで清掃活動に汗を流しておられる。

誰も思いがあっても、なかなか実行することは難しいなか「よし!! オレがやる」と心を決め、泌泉を輝かせてくれたがんばり屋さんのお2人に最敬礼です。



議会を傍聴に来ませんか

- 議会の定例会は(年4回) 3・6・9・12月に開催されます。
- 本会議は、住所と氏名を記入するだけで傍聴できます。
- 委員会は、委員長許可により傍聴できます。
- 次回第1回は、3月上旬に開催予定です
(詳細につきましては、決定次第、防災行政無線等でお知らせします。)



編集後記

今回の表紙は町民の方が、モーターバラグライダーに乗って、空から撮影した写真を掲載。真ん中に見える高地区配水池はカエルとイトちゃん、ター坊がレインボーカラーののって町を明るく照らしているように見える。

2000年の歴史をもつ糸田町。先人が大地を耕し文化を創造し刻々と変化した我が町。ここ数年をみただけでも大きく変わった。

宮床の平屋の県営住宅は4階建てになり道も広くなり大きなスーパーもできた。毎回「町はどうなっちゃおう」とのシリーズでも紹介してきたとおり道や橋、公園などが整備され、企業がソーラーパネルなども設置。

人口減少時代これから町はどう変わっていくのか、どう変えていくのか町のランドデザインが必要になってくると思った。大きな視野で心が豊かになる町にと思いが膨らんだ。

上空から見える風景、路地の中に入りこんで見える風景、さまざまにあるが、議員の私たちは隅々まで光が当たる町づくりをしていかなければと思った。上空からの撮影に感謝!!



広報委員撮影

議会広報常任委員会

- 委員長 小嶋 康子
- 副委員長 松瀬 征行
- 委員 谷口健次郎
- 委員 井手元正人
- 委員 佐々木 淳
- 委員 中原 詔蔵

発行責任者

議長 田中 隆之

問い合わせ

〒822-1392
糸田町 1975 番地 1
糸田町議会事務局
電話 26 - 4353